

今回は、第3号の「卒業後の生活」就労継続支援 B 型の説明で話題にした「就労アセスメント」についてお知らせします。「就労アセスメント」で挙げてある項目は、就労継続支援 B 型だけでなく、生活介護や就労継続支援 A 型、企業就職を考えている生徒にとっても、豊かな生活を考える上で大切な視点となります。

就労アセスメント

芦北・水俣圏域では、在校生に対して「就労アセスメント」を実施する機関がありません。そこで、市・町障がい福祉課と連携して、「就労アセスメント」の代わりとなる「報告に係わる資料」を作成し、実施しています。

「報告に係わる資料」には、働くための基礎力としての情報（生活面、就労面、コミュニケーション、精神面）が記載されます。高等部段階では、小・中学部からのさらなる積み重ねが大切となります。そこで今回は、生活面と就労面の主な視点を紹介します。

生活面

【マナー】

言葉づかい

- ・相手や場に応じた丁寧な言葉がつかえる。

規範意識

- ・集団の決まりがわかり、守ることができる。
- ・自分の役割や責任がわかり、集団の中でよりよく行動できる。

ふるまい

- ・礼儀正しく、周りに不快な印象を与えない。

など

【生活習慣】

生活リズム

- ・規則正しい生活ができています。

家事

- ・家庭で決まった家事に取り組んでいる。

身だしなみ

- ・仕事や活動に適した、清潔な服装・身支度ができる。

金銭感覚

- ・お金を大切に使うことができる。

健康管理

- ・体調の不良を訴えることができる。
- ・健康面に気を配ることができる。

など

例えば、学校では・・・

- 視線や身体の動き、手話、ひらがなボード、など、相手や場に応じて気持ちを伝える学習をしています。

- 相手や状況に応じた伝え方を学習しています。



- 朝の会では、担当する日付や天気、時間割などの発表をしています。

- 「早寝、早起き、朝ご飯」が大事なことを学習します。



- 朝の会の出席確認などで、体調の確認をしています。

- 頭が痛いときや吸引が必要など、伝え方を学習しています。



この他にも、いろいろな学習場面で、「生活面」に関する内容を学んでいます。

就 労 面

【 作 業 態 度 】

積極性

- ・積極的に作業できる。

責任感

- ・与えられた仕事を最後までやり遂げることができる

【 理 解 力 】

指示の理解

- ・作業の指示が理解できる。

工程理解

- ・作業の手順や工程が理解できる。

【 思 考 力 】

見通し

- ・自分で見通しを立てながら作業できる。

【 判 断 力 】

状況判断

- ・自分で工夫しながら作業できる。

【 自 己 統 制 力 】

感情のコントロール

- ・無視・反発・拒否せず指示や中止を冷静に受け入れることができる

自己管理

- ・人に見られてなくても作業できる。

【 協 調 性 】

他者理解

- ・人の気持ちが理解できる。

協力・協働

- ・人と協力して作業できる。

【モチベーション】

意欲

- ・働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている。

など

例えば、学校では・・・

- 製作などの活動で、自分の担当する活動を時間いっぱいがんばっています。



- いろいろな活動にチャレンジし、積極的に活動ができるよう、生徒に応じて活動方法を工夫しながら取り組んでいます。

- 見通しを持ち、活動内容が理解できるように、学習内容や必要に応じて活動ボードや手順表などを活用しています。



- 学習を進める中で、本人が工夫している場面を大切に、それを生かすようにしています。



- 他者の気持ちを大切にするためにも、まずは自分の気持ちを大切に、表現することを大事にしています。



- 友達とのかかわりを大切にしています。直接かかわれない場合でも、VTRやリモートなどを活用しながら取り組んでいます。



この他にも、いろいろな学習場面で、「就労面」に関する内容を学んでいます。

「就労アセスメント」の視点を知ること、
「これはできるよ」「こういうこともできそうだな」など、
現在の状態の把握や期待、ねがいなどを考えるきっかけ
になります。学校では、それぞれのお子さんに応じた学習が
行われています。日々の積み重ねが、現在・卒業後の豊かな生活につ
ながります。

次回、「コミュニケーション面」と「精神面」の
紹介をします。

